

気仙沼イルミネーション作り ボランティアへの参加 復興の灯を 一緒につくった

「今できることプロジェクト」では、今年度のボランティア型支援として、気仙沼イルミネーションのイルミネーション作り・設置作業を行うボランティアバスツアーを11月21日に実施しました。イルミネーションは、震災後真っ暗で人が近寄らなくなった気仙沼の内湾地区に明かりを灯し、子どもたちに笑顔になってほしいと「ONE-LINE 気仙沼クリスマスイルミネーション」実行委員長の宮井和夫さんが中心になって2012年から開催してきました。毎年イルミネーション設置作業のボランティアが足りない状況でしたが、今回プロジェクトの参加者50人が4時間近く屋外で一生懸命作業をしました。

これからも皆さんとの 奇跡の出会いを大切に

作業開始に先立ち宮井和夫さんから実行委員会の方々が設置方法を説明。参加者は指導を受けながら作業しました。終了後、一部試験点灯された「海の市」前で、宮井さんから「皆さんのおかげでたくさんの電球が付きました。今日の出会いを大切に、またお会いできることを楽しみにしています」と感謝のあいさつがあり、大きな拍手に包まれました。この日一日で、全体の約15%の作業を終えることができました。



作業の内容を説明する宮井実行委員長

作業終了後、宮井さんのあいさつを聞く参加者の皆さん

12/5/

みんなで作った光が点灯

「ONE-LINE 気仙沼クリスマスイルミネーション」の今年の点灯式は、12月5日(土)午後7時より、参加者も作業を行った「海の市」駐車場にて開催されました。



気仙沼イルミネーション 2016年1月15日(金)まで開催

◎開催時間／18:00～22:00
◎開催エリア／気仙沼の港町地区、田中前地区

復興に向かう 気仙沼を 見てください

ボランティア作業に先立って、鹿折見学台や建設中の防潮堤などを訪れ、気仙沼の被災状況と復興の様子を見学しました。案内役は、気仙沼観光コンベンション協会の熊谷俊輔さん。「気仙沼は津波の後で大火災があり、大変な被害でしたが、復興に向かって動き始めています。気仙沼の魅力はたくさんあるので、またぜひ訪ねてください」と話してくれました。



慣れるまで大変 でも楽しい

2～3人でチームを組み、階段手すり、岸壁沿いや駐車場周辺、緑地帯など各所に別れて作業を実行。電線が絡まないように丁寧に、そして接続はしっかりと。



おいしいね
気仙沼の味わい
お弁当タイム



日が暮れるまで作業 試験点灯で みんな感激

力を合わせて一心に行ったイルミネーション配線作業。日が暮れるまで頑張りました。階段手すりに配線した「海の市」の試験点灯で明かりが灯された時は、参加者一同大感激でした。



「寄付」にも、ぜひ参加を!

イルミネーションを継続していくためにはまだまだ資金が不足しています。「寄付」にぜひご協力ください。

ファンドレイジングサイト「JustGiving(ジャストギビング)」 <http://japangiving.jp/p/1749>

気仙沼ボランティア 参加者の声

自分の目で被災地の今を感じることができた。



仙台市 根岸怜那さん(左) 仙台市 田中佑奈さん(右)

震災の時はそれぞれ石川県と群馬県で中学生でした。今年、仙台の大学に進学して友だちになりました。仙台に来たからには、とこれまでも復興関係のワークショップに参加してきました。今日は報道を通して見るのではなく、自分の目で被災地の様子を感じることができて良かったです。作った灯で少しでもみんなが喜んでくれたらいいなと思います。

きれいな明かりを みんな見てくれるといいね。



仙台市 加藤隆さん(後列右から)、純子さん、綾華さん(前列右から)、遥華さん、颯人さん

福島県郡山市で被災して、会津や他の地域に何度も移り、家族が離れて生活した時期もありました。今は仙台で家族と一緒に暮らせているので何よりです。気仙沼にみんなで来たのは初めてですが、復興はなかなか進んでいないと感じました。今日は子どもたちと楽しく作業をして「いろんな人が見てくれるといいね」と話し合いました。

初めてのボランティアで願う 地元の復興とこどもの成長。



仙台市 千葉厚子さん(左) 千葉桜子さん(右)

地元気仙沼に帰ってくるたび、何か自分にできることはないかと思っていましたが、なかなかきっかけがつかめませんでした。今回こそは何か手伝いたいという想いを胸に、一緒に参加した自分のこどもの成長も願って応募しました。私たちが飾り付けたイルミネーションで、気仙沼の方々の心を癒やせたら幸いです。

2度目の気仙沼訪問で 楽しいボランティア。



SKブラネットジャパン 土井花野さん

気仙沼は2度目の訪問になります。飾り付けではとても楽しく作業することができましたし、試験点灯している様子を見たときにはとても感動しました。今回の活動を通し、少しでも気仙沼の方々に関わることがうれしかったです。次はイルミネーション開催時期に、また見に来たいと思います。

皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設HPにお寄せください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html

河北 今できること 検索

facebookページもあります。

私たちも、復興のために「今できること」とともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI／アヴィエスホーム／アサヒビール 東北統括本部／岩手日日新聞社／エイチ・アイ・エス／SK planet Japan／NTTデータ東北／キヤノンマーケティングジャパン／キリンビールマーケティング 宮城支社／ケースデンキ／劇団四季／神戸製鋼所／サッポロビール 東北本部／サンセイランディック／サントリー酒類 東北支社／JA全農みやぎ／JTB東北／尚絅学院大学／住友不動産 東北支店／青南商事／生命保険協会 宮城県協会／セキスイハイム東北／石油連盟／仙台育英学園／仙台三越／第一生命保険 仙台総合支社／大東住宅／タゼン／DICグラフィックス／伝承千年の宿 佐勘／東北学院大学／東北三菱自動車販売／日本製紙／日本製紙クレシア／日本生命 仙台支社／野村不動産 仙台支店／はとバス／日立システムズ／平松剛法律事務所／ビルワーク／藤崎／富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ／松田会／三井不動産 東北支店／三菱地所グループ／三菱電機／宮城県自動車整備振興会／宮城県建設業協会／宮城県物産振興協会／みやぎ生活協同組合／明治安田生命 仙台支社／森永乳業／リコージャパン 東北事業本部／河北新報社 (順不同)

◎後援／宮城県、仙台市、多賀城市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、多賀城市教育委員会

【お問い合わせ】今できることプロジェクト事務局／河北新報社営業部 tel 022-211-1318